便り同

## 村民ガ笑顔で ふれあう伊達市の農園

村社会福祉協議会が村民向けに借りている伊達市 の畑で、借上げ住宅の入居者による野菜の栽培が行 われています。この日はインゲン、トウモロコシ、 大豆などの苗を植栽しました。参加者代表の菅野茂 さん(関根・松塚)は「こまめに畑に来て、野菜の手 入れをしながら交流を図ってほしい」と話していま した。また参加者の一人は、「外の空気を吸って手 入れできるだけで気持ちがいいね」と笑顔を見せて トウモロコシの苗を植えていました。

借上げ住宅に入居している方で参加したい方は村社会福祉 協議会(☎024-562-3622)までお問い合わせください。

ご飯を握りまし炊きたてアツア

▼協力して手際よく作業を進めます





#### 中学生が仮設住宅で掃除と炊き出しを頑張る

第2応急仮設住宅を訪れました。

飯舘中学校の生徒が福祉体験の活動で、松川第1・

10日に松川第2応急仮設住宅を訪れた2年生は、掃 除班と炊き出し班に分かれて活動。掃除班は希望の各 戸を訪れて、手が届きにくい高い場所の掃除や窓拭き などを丁寧に行い、炊き出し班は、おにぎり作りと豚 汁作りに力を合わせました。

暑い日でしたが中学生たちは笑顔をたやさず、住民と 言葉を交わしながら、真剣に作業に取り組みました。昼 食の準備が整うと、お年寄りの家へ運ぶのを手伝ったり、 住民に自然に手を貸す中学生の姿が印象的でした。

松川第1応急仮設住宅では、翌11日に、3年生がボラ ンティア活動を行いました。



▲豚汁完成!

**【**「まだ、ここが…」 までいな仕事の掃除班 ▼現在のようすを聞かせて いただく活動も



▲「ああ、ありがとう」こんな笑顔に会えました



# 「いいたてきごいな (6/30)



便り筒

# 復興計画第2版(案)」

まとまる

答申を行う赤坂委員長と村

「いいたてまでいな復興計画推進委 員会」の答申が行われました。

答申では、赤坂憲雄委員長が村長に、 答申書と「いいたてまでいな復興計画 第2版(案)」を手渡し、村長は「熱 心に討議をしていただきました。この 計画案を大切にしていきます」と感謝 を述べました。

アドバイザーを務めた委員の一人は 「案は村民の皆さんに議論をしていた だいて変わっていくものです。その先 にもぜひ協力させてほしい」と話して いました。

この案をもとに住民懇談会などで村 民との意見交換が行われていきます。



◀ いいたてまでいな復興計画 第2版(案)は全戸に配布 されています

### 經 米 大 吟 醸 「 飯 舘 」 おこり酒をふたたび

喜多方市に避難する小林稔さんと妻の 美惠子さん(前田・八和木)は、大倉地区で 栽培されていた酒米「美山錦」を避難先で 1.7ha 作付け、栽培しています。 小林さん は喜多方市の醸造元・大和川酒造店と提 携して、この美山錦で、避難前からの人気 商品・純米大吟醸「飯舘」、本醸造「おこし 酒」を仕込みます。「飯舘」は今年12月に 限定販売の生酒が、来年4月には火入れ した製品が販売される予定です。稔さん は、青々とした酒米のほ場を前に「初めて の土地なので聞きながらの作業。一段ず つ進む米の成長が楽しみです。飯舘ブラ ンドを復興し、みんなに元気になってほ しい」と話していました。

小林さんのほ場・小林稔さん。 後



#### 合資会社 大和川酒造店

江戸時代から続く 蔵元。代表の佐藤 彌右衛門さんは、 本村までい大使で もあります



大和川酒造の建物。 敷地内には蔵が並びます▲

広報 いたて 平成 24 年 8 月号 12 平成24年8月号 広報りりたて